

公募

全国訪問リハビリテーション振興会 訪問リハ・地域リーダー育成研修会

主 催：全国訪問リハビリテーション振興会
開催日：平成 22 年 9 月 9 日（木）10 日（金）
会 場：損保会館(東京都千代田区神田淡路町 2-9)

開催趣旨：

平成 24 年度に行われる医療介護報酬同時改定に向け、セラピストの質の向上をはかり、望ましい形で訪問リハビリ・ステーション（仮称）を制度化することは日本理学療法士・作業療法士・言語聴覚士協会（以下、3 協会）共通の重要な目標と考えております。

このことを実現するには、全国で数多くのセラピストを各地域で啓発し、国民に信頼される良質なサービスレベルを維持することが重要であると考えます。その為に、3 協会と各都道府県士会が一体となってそのビジョンを共有し、良好な協力体制の下、制度実現に向けた取り組みを継続的に実行する必要がある、その趣旨の下、本研修会を開催したいと考えます。

なお、本研修会参加者は各県において、訪問リハビリテーション啓発、普及のリーダーになっていただくことを目的としています

- ・ 訪問リハビリ・ステーションの制度化に向けたプロセス
セラピストの訪問リハビリテーションの資質の向上に対する行動実績を積み上げる。
充実した訪問リハビリテーションを全国のどの地域においても均一に提供できる基盤を整備する。
各地域にて、実務者として活動できるセラピストを育成する、リーダーを啓発する
 - ・ 今後、立体的な研修システムや組織作りを念頭に入れた活動が重要
 - ・ 中央で多くのセラピストを養成することは物理的にも困難であり、また、地域の実情に合わせたセラピストの育成が重要
- ・ 今後、それぞれの協会が目指す訪問リハビリ・ステーションについての方針を、共有すると共に、各都道府県士会ともそれを共有する。
- ・ 地域で活動するセラピストに必要な資質について、明確にし、そのカリキュラムを各協会や地域の会員と共に作成する。

応募資格

- ① 県内において訪問リハを実践している OT 県士会会員
（平成 22 年度までの県士会費を納入されている会員）
 - ② 研修終了後、県士会主催講習会にて、伝達講習を実施できる会員
- ※ 応募者は訪問リハビリ研究会の意見を参考に理事会にて決定します。
※ 応募者は別紙に必要事項を記入し沖縄県作業療法士会事務局まで FAX で申し込んでください。

応募〆切：平成 22 年 7 月 24 日（土）17:30 まで

全国訪問リハビリテーション振興会

訪問リハ・地域リーダー育成研修会開催要項

主 催：全国訪問リハビリテーション振興会

開 催 日：平成 22 年 9 月 9 日・10 日

会 場：損保会館（東京都千代田区神田淡路町 2-9）

1. 開催趣旨：

近年、地域ケアにおける理学療法士・作業療法士・言語聴覚士（以下セラピスト）に対する国民の期待が年々高まっています。

その一方で、その良質な質の担保について、全国で普及する仕組みは、十分に整備し尽くされていないのが現状であります。また、増加し続けるセラピストに対し、職域拡大は私たちの活動の大きなテーマです。

以上の状況を考えたときに、平成 24 年度に行われる医療介護報酬同時改定に向け、セラピストの質の向上をはかり、望ましい形で訪問リハビリ・ステーション（仮称）を制度化することは日本理学療法士・作業療法士・言語聴覚士協会（以下、3 協会）共通の重要な目標と考えております。

このことを実現するには、全国で数多くのセラピストを各地域で啓発し、国民に信頼される良質なサービスレベルを維持することが重要であると考えます。その為に、3 協会と各都道府県士会が一体となってそのビジョンを共有し、良好な協力体制の下、制度実現に向けた取り組みを継続的に実行する必要がある、その趣旨の下、本研修会を開催したいと考えます。

なお、本研修会参加者は各県において、訪問リハビリテーション啓発、普及のリーダーになっていただくことを目的としています

- ・ 訪問リハビリ・ステーションの制度化に向けたプロセス
 - セラピストの訪問リハビリテーションの資質の向上に対する行動実績を積み上げる。
 - 充実した訪問リハビリテーションを全国のどの地域においても均一に提供できる基盤を整備する。
 - 各地域にて、実務者として活動できるセラピストを育成する、リーダーを啓発する
 - ・ 今後、立体的な研修システムや組織作りを念頭に入れた活動が重要
 - ・ 中央で多くのセラピストを養成することは物理的にも困難であり、また、地域の実情に合わせたセラピストの育成が重要
- ・ 今後、それぞれの協会が目指す訪問リハビリ・ステーションについての方針を、共有すると共に、各都道府県士会ともそれを共有する。
- ・ 地域で活動するセラピストに必要な資質について、明確にし、そのカリキュラムを各協会や地域の会員と共に作成する。

2. 対 象

- 定員 200 名
- 参加要件
 - ① 理学療法士協会、作業療法士協会、言語聴覚士協会の会員、かつ各都道府県士会推薦をうけた会員であること
 - ② 訪問リハビリテーションの実務者を継続的に指導することにご理解がいただけるか。次年度以降継続的に実施される、本研修会等に参画していただける方
 - ③ ②の要件を満たす方が望ましいが、困難であっても、県士会の推薦を前提に、訪問リハビリテーション振興会の趣旨に賛同し協力を願える方であれば可

※なお、全国訪問リハビリテーション振興会が開催した、管理者研修会 STEP 1に参加された方、または今後、受講される予定の方が望ましい。(別途、同講習会参加者情報を県ごとに提供します。)

- 各都道府県からの推薦手順について
 - ① PTOTST それぞれの都道府県士会より 1 名ずつ、指導者をご推薦ください
 - ② 更に参加をご希望する都道府県については、最大 2 名までご提示ください。2 名以上になる場合には、各県 PT、OT、ST 県士会でご協議の上優先順位をご提示ください
 - ※ 会場等の都合により、各都道府県の規模等を総合的に勘案し、振興会事務局のほうで検討させていただきます、ご報告申し上げます

- 参加方法と決定までの流れ
 - ① 3 協会それぞれより、各都道府県士会に参加要項等を通知する
 - ・ 参加要項
 - ・ 実施プログラム
 - ② 要項にのっとり、県士会 (3 協会それぞれに) が参加者を選定する。
 - ③ 申込みフォームに従って、各県士会が訪問リハ振興会あてに申込み。

<https://fs219.xbit.jp/n954/form10/>

- ④ 訪問リハ振興会にて選定・受講者決定
- ⑤ 県士会と応募者の双方に通知
参加者には事前にアンケート等を送付



※2 名以上の参加希望を選考する基準に関しては、人口の多い都道府県やアンケート結果を参考にして選考委員会で決定いたします。

- 応募日程
 - 7 月 12 日 POS 各協会から県士会に応募要項等を周知
 - 7 月 31 日 応募締切
 - 8 月 2 日 選考会議
 - 8 月 6 日 各県士会へ応募者確定通知 (同時に本人にも通知)

3. 研修内容

1日目（平成22年9月9日）

12：30～ 開講式、オリエンテーション

12：40～ 講義開始

18：30 終了

※終了後、懇親会を計画しております。3協会また、県士会の指導者ごとのネットワーク作りのためにも是非ともご参加ください

2日目（平成22年9月10日）

9：30～ 講義開始

15：00 終了

※詳細は別紙プログラム参照

4. 参加費：

受講料 無料（3協会負担）

（参加するにあたり、交通費、宿泊費等旅費については、都道府県士会ごとに、できる限りの資金のご支援、ご協力をお願いいたします。）

【1日目】

12:30 開講式・オリエンテーション

－ I 部－ 訪問リハの現状と協会・振興会の取り組み

12:40～13:00 協会長挨拶
 日本理学療法士協会 会長 半田一登 氏
 日本作業療法士協会 会長 中村春基 氏
 日本言語聴覚士協会 会長 深浦順一 氏

13:00～13:45 講義1 訪問リハビリテーションの現状と展望について
 全国訪問リハ振興会 会長 伊藤隆夫 氏

13:50～14:40 講義2 訪問リハ振興会の取り組みについて
 全国訪問リハ振興会 副会長 松井一人 氏

－ II 部－ 教育活動の実際と討論

14:50～18:30 シンポジウム形式 討論
 テーマ：「地域における訪問リハ普及、啓発および教育活動とは」
 司会： OT 協会理事 土井勝幸 氏
 ST 協会理事 山口勝也 氏

14:50～15:20 基調報告 訪問リハ教育研修活動の実態について
 全国訪問リハ振興会 研修班 宮田昌司 氏

15:20～16:20 先進地域事例報告

- ① 北海道の事例 訪問リハビリテーション連絡会
- ② 熊本県の事例 くまもと訪問リハ研究会
- ③ 沖縄県の事例 おきなわ訪問リハ研究会
- ④ 京都府の事例 京都 OT 士会
- ⑤ 東京都の事例 訪問 ST 会

※報告：先駆的に行っている県のリーダー5名×10分
 各県での事情、研修会、勉強会の開催とカリキュラム
 組織作りの経過、苦勞、課題などを報告

16:30～17:40 シンポジスト・参加者間で質疑・討論
 ※いくつかのサブテーマ設定に沿って、フロアーと質疑・討論。

17:50～18:30 ワークショップに向けてプレ議論

※懇親会（設定） 19:00～ 研修会会場にて設定予定

【2日目】

—Ⅲ部— 普及・研修活動企画の実際

9：30～12：00 ワークショップ

テーマ：実際に地域における普及・研修活動を企画する！

※県に戻って効果的な研修会を開催するために、県単位での現状把握とともに、普及、研修計画を実際にシュミレーションしてみる。

※参加事前いくつかの討論項目を提示。それに自答する形のレポートを各自作成、それをもとに議論。

※県単位または近県で班分けし、育成計画を練る。特に3職種で協働するには工夫が必要か、必要とするならばそれは何かを議論する。

12：00～13：00 ——— 昼食・休憩 ———

13：00～14：30 ワークショップ 成果発表と総括

14：40～15：00 研修会総括 会長 伊藤隆夫

※参加者に対して今後の研修や振興会との連携方法・次年度の展開などを含めて示す。